

第2学年 生活科学習指導略案

教科等	生活科	単元名	うごく うごく わたしの おもちゃ	本時	全12時間抜いの8時間目
学級	2年4組	授業者		教室等	2階 2年4組教室

<本時の指導>

<本時のねらい> みんなで楽しく遊ぶために、遊びの工夫について考えることができる。	
	<p>主な学習活動【4つの視点】 主な発問:T 予想される児童の反応:C</p> <p>○研究主題にせまる6つの手立て □…指導上の留意点 ☆…評価 ※UD</p>
導入	<p>1. 前時のおもちゃ作りについて振り返り、本時のめあてを確認する。【発見】 T: おもちゃを作って遊んだ感想を発表しましょう。 C: びよんコップで高く跳んで楽しかった。 C: ほかの人が作ったおもちゃでも遊びたい。</p> <p>みんなで楽しくあそぶくふうを考えよう</p>
展開	<p>2. みんなで楽しく遊ぶためにはどうしたらいいか考える。【表現】 T: おもちゃを使ってみんなでどんなことをしたいですか。 C: 競争したい。 C: 点数をつけたら面白いかも。</p> <p>○話題設定の工夫 前時までに、作ったおもちゃで遊ぶ時間を十分に取、動くおもちゃの面白さや特徴に気付くようにする。</p> <p>○意図的にグルーピングされた小集団での交流活動の設定 同じおもちゃを作る児童を一つのグループとして、遊び方やルールを話し合う。自分たちで話し合い、工夫したことで、みんなと遊びを創り出すことの面白さを実感させる。</p> <p>○交流の目的と視点の明確化 「みんなで楽しく遊ぶためにはどんなことが必要か話し合う」という目的と、「友達の考えは自分の考えと似ているか、違うか」「みんなが楽しめるか」という視点を与える。※焦点化</p> <p>□活動中の児童の気付きを見取りながら工夫の方法を示唆し、ほかの児童の思考へとつなぐ。 ☆みんなが楽しく遊ぶための遊び方やルールを考えている。(発言・ワークシート) ※共有化</p>
	<p>3. 遊び方やルールを対話しながら考える。【対話】 T: 作ったおもちゃについてみんなが楽しく遊べる工夫を話し合いましょう。</p> <p>①遊んだ感想を伝え合う。 ②工夫(ルール、規模、環境、道具)を考えて話し合う。 ③ワークシートに書く。</p> <p>C: 点数をつけて、ランキングにしたい。 C: 競争もさせたいな。 C: 的を作りたい。</p>
	<p>4. 遊び方やルールを発表する。【決定】 T: 話し合いで出したことを発表しましょう。</p>
終末	<p>5. 振り返りカードに書く。 T: ルールや遊び方で自分が考えたこと、友達の考えを聞いて思ったこと、次にやりたいことを振り返りカードに書きましょう。</p> <p>□「今度は○○したい。なぜかという○○だから」といった形式で書かせ、児童が次への見通しをもてるようにする。</p>

【板書計画】

うごくうごく わたしのおもちゃ	学しゅうのながれ
みんなで楽しくあそぶくふうを考えよう	①めあてのかくにん
話し合いのしかた	②話し合う
①あそんでみて、思ったことを話す。(じゅんばんに)	③はっぴよう
②あそび方やルールを話し合う。	④ふりかえり
③自分のワークシートに書く。	
考えたくふう	
・点数をつける	
・きょうそうさせる	
・まどをつくる	
・ランキングにする	

【研究主題にせまる6つの手立てとの関連】

(1) 「自分の考えを言葉で表現する」ための手立て

話題設定の工夫

朝の会や帰りの会でおもちゃを話題にし、「みんなで遊びたい」という児童の意欲を高めておく。また、前時までに、作ったおもちゃで遊ぶ時間を十分に取、動くおもちゃの面白さやおもちゃの特徴に気付くようにすることで、「自分が作ったおもちゃで友達を楽しませたい」という気持ちを高める。

(2) 「学び合う」ための手立て

意図的にグルーピングされた小集団での交流活動の設定

同じおもちゃを作る児童同士の3~4人でグルーピングし、遊び方やルールを話し合う。更に、他のおもちゃを作っている児童と交流することで、工夫のヒントを得たり、よさを認め合ったりするようにする。

交流の目的と視点の明確化

「みんなでもっと楽しく遊ぶための遊び方やルールを見付ける」という目的と、「友達の考えは自分の考えと似ているか、違うか」「どんな人も楽しめるか」という視点を与え、目的意識をもちながら、交流できるようにする。